

交通毎日新聞

発行所 交通毎日新聞社
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

JB NBI
 EXPEDITE
 株式会社 JB NBI
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 TEL: 03-5561-1111

国交厚労省トラック2協議会合同会議 全都道府県 拘束時間短縮を確認 実証結果

国土交通省、厚生労働省、トラック2協議会(トラック協会、トラック労働会)は、21日、東京都千代田区千代田で、全都道府県を対象とした「トラック2協議会合同会議」を開催した。会議では、トラック2協議会が実施した「トラック2協議会実証実験」の結果について、全都道府県で拘束時間の短縮を確認したことが報告された。



国土交通省、厚生労働省、トラック2協議会(トラック協会、トラック労働会)は、21日、東京都千代田区千代田で、全都道府県を対象とした「トラック2協議会合同会議」を開催した。

標準運送約款10月改正

国土交通省は、トラック2協議会(トラック協会、トラック労働会)と共同で、標準運送約款(トラック2協議会標準運送約款)を10月1日より改正する。改正内容は、トラック2協議会が実施した「トラック2協議会実証実験」の結果に基づき、全都道府県で拘束時間の短縮を確認したことを踏まえ、約款の改正が行われる。

改正された約款は、トラック2協議会が実施した「トラック2協議会実証実験」の結果に基づき、全都道府県で拘束時間の短縮を確認したことを踏まえ、約款の改正が行われる。

改正された約款は、トラック2協議会が実施した「トラック2協議会実証実験」の結果に基づき、全都道府県で拘束時間の短縮を確認したことを踏まえ、約款の改正が行われる。

自動車技術展 各社の出品概要

自動車技術展は、自動車業界の最新の技術や製品を紹介する重要なイベントです。今年も多くの企業が最新の技術や製品を展示し、業界の発展に貢献しています。

今年も多くの企業が最新の技術や製品を展示し、業界の発展に貢献しています。

今年も多くの企業が最新の技術や製品を展示し、業界の発展に貢献しています。

今年も多くの企業が最新の技術や製品を展示し、業界の発展に貢献しています。

今年も多くの企業が最新の技術や製品を展示し、業界の発展に貢献しています。



旭化成「AKXY」公開 GLMとEVコンセプトカー開発 自動車分野の総合力示す

旭化成(東京都千代田区、小堀秀敏社長)は21日、電気自動車(EV)メーカーのGLM(京都市、小堀祐康社長)と共同開発したコンセプトカー「AKXY(アキシー)」を初公開した。コンセプトカーは2015年から協議・製作を進めてきたもので、実際に走行することができる。スポーツカーとEVを融合したクーペスタイルのクーペ・プラットフォームで、リアはフルウィングボディを採用している。全長4885mm×全幅1813mm×全高1962mmで、モーター出力は305ps。座席は2人乗り。



「AKXY」を披露する旭化成の吉田康博さんと、2017年旭化成チャンピオンモデルの大伴康彦さん。車内はGLM最速車1号車のスポーツEV「トニー・カイヤル」のプラットフォーム部分を活用している。車体には旭化成の最先端技術や自動車向け材料・システムを合計25品目搭載している。部材では、自動車の軽量化につながる高強度、軽合金アルミニウムなどの代わりになる高機能樹脂が、快適性に優れたシート用の人工皮革、エコタイヤ向け合成ゴムなどを使用している。

さらに、センサー(感知器)などを使用して様々な機能を制御し、拡張化する「センシング技術」を搭載。人の顔やカメラで認識しながら前方を自動検知する非接触型顔認識技術(非接触バイオメトリックセンシングシステム)や、車内の二酸化炭素濃度を感知する技術(CO₂センサー)を車体に搭載している。いずれも真実を感知した場合には、ドライバーにアラーム通知などを送る。危険を回避することが出来る。

記者発表会で、旭化成の吉田康博さんは、中期計画で自動車事業を重要分野として位置付けていることを報告した。これまでも働き上げてきた自動車部での総合力を充分に発揮し、お返しするため、素材やシステムを積極的に融合し、自動車事業の発展と貢献を期している。このコンセプトカーを、次世代車材はもとより、電子デバイスなど、未来を見据えたシステムについて披露させていただきたい」と述べた。

なお、「AKXY」は「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2017」で展示される。

本日6ページ
 4ページ目まで見てください

経産省 新産機ビジョン骨子案発表 安全移動など4戦略

国土交通省は、21日、東京都千代田区千代田で、新産機ビジョン骨子案を発表した。骨子案は、安全移動、高度成長、環境共生、国際競争力の向上の4つの戦略を掲げている。

安全移動戦略は、道路の安全確保、公共交通の充実、歩行者の安全確保などを掲げている。高度成長戦略は、生産性の向上、雇用の創出、賃金の引き上げなどを掲げている。

環境共生戦略は、環境負荷の低減、資源の有効利用、気候変動対策などを掲げている。国際競争力の向上戦略は、海外市場の拡大、国際的な競争力の向上などを掲げている。

国土交通省は、新産機ビジョン骨子案を発表した。骨子案は、安全移動、高度成長、環境共生、国際競争力の向上の4つの戦略を掲げている。

国土交通省は、新産機ビジョン骨子案を発表した。骨子案は、安全移動、高度成長、環境共生、国際競争力の向上の4つの戦略を掲げている。

国土交通省は、新産機ビジョン骨子案を発表した。骨子案は、安全移動、高度成長、環境共生、国際競争力の向上の4つの戦略を掲げている。

交毎春秋

今も心に響く松葉提言
 松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。

松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。

松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。

松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。

松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。松葉提言は、交通業界の発展を促す重要な提言です。

相乗り「ノッテコ」 自タクに当たらず

国土交通省は、21日、東京都千代田区千代田で、相乗り「ノッテコ」に関する発表を行った。相乗り「ノッテコ」は、タクシーと自家用車の相乗りサービスを提供する。国土交通省は、相乗り「ノッテコ」がタクシーと自家用車の相乗りサービスを提供することを認めた。

国土交通省は、相乗り「ノッテコ」に関する発表を行った。相乗り「ノッテコ」は、タクシーと自家用車の相乗りサービスを提供する。

国土交通省は、相乗り「ノッテコ」に関する発表を行った。相乗り「ノッテコ」は、タクシーと自家用車の相乗りサービスを提供する。

国土交通省は、相乗り「ノッテコ」に関する発表を行った。相乗り「ノッテコ」は、タクシーと自家用車の相乗りサービスを提供する。

社長、こいつに乗せてくれ!

2017年、韓国産トラック生産100年の今、日野のトラックは大きく進化しました。大切にしたことは、経営者の皆様はもちろん、ドライバーの皆様からも支持されるトラックであること。基本性能を向上した上で、運転時の疲労軽減に貢献する高機能シートなど、働きやすい居住空間の発展を目指しました。国内大型トラック初の多行者を換装するPCS*など、安全装備を更に向上。ひとむきに走り続けるドライバーが、より快適に、より安全に働けること。だからこそ、トラック業界の大きな活力となり、経営の糧が力になると信じ、新しい日野は走り始めます。

人を思う、次の100年へ。

NEW HINO PROFIA

www.hino.co.jp 日野自動車株式会社

日立グループは、日立オートモティブシステムが開発した高速道での渋滞時に低速で先導車を追従する低速先導車追従走行（渋滞運転支援）などの先進運転支援システムの実証試験や、日立オートモティブシステムとクラリオンが共同開発したスマートフォンを用いて車外から遠隔で駐車を行うリモートパーキングシステムなど、自動運転を実現する先進技術を紹介する。

さらに、センサー（感知器）などを使用して様々な情報を計測し、数値化する「センシング技術」を搭載。人の顔をカメラで撮影しながら心拍数を計測する非接触型の脈波検出技術（非接触バイタルセンシングシステム）や、室内の二酸化炭素の濃度を感知する技術（CO₂センサー）を車体に組み込んでいる。いずれも異常を察知した場合に、ドライバーにアラーム通知などをすれば、危険を回避することができる。

記者発表会で、旭化成の吉田浩常務は、中期計画で自動車事業を重要分野として位置付けていることを報告したあと、「これまでに築き上げてきた自動車領域での総合力を分かりやすくお伝えするため、素材やシステムを横断的に融合し、自動車事業の象徴となるようにしている。このコンセプトカーを、次世代素材はもとより、電子デバイスなど、未来を見据えたシステムについて提案させていただきたい」と述べた。

なお、「AKXY」は「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2017」で展示される。

相乗り「ノッテコ」 白タクに当たらず

国内最大級の相乗りマッチングサービスを提供するnotteco（ノッテコ、東祐太郎社長）は18日、産業競争力強化法の「グレーゾーン解消制度」を活用して、同社のサービスを照会したところ、道路運送法第2条第3項「旅客自動車運送事業」に該当せず、道路運送法上の許可または登録を要しないとの回答を

受けたと発表した。

ノッテコは、中長距離を移動する人（ドライバー）と同区間の移動を希望する人（同乗者）をマッチングさせ、移動にかかる燃料代と高速道路代を「割り勘」にするというコストシェア型ライドシェアサービス。ドライバーが同乗者から費用を徴収することは「白タク」行為に当たらないか、と指摘されていた。

同社は今回の照会で、あらかじめ設定した実費の範囲内の負担で旅客自動車運送事業に該当しないという回答を受けたことから、今後、本格的にマッチングサービスを展開し、生活交通が課題となっている交通過疎地における新たな交通手段としていく構想を示している。

本日6ページ

4～5面 運送システム特集

